

# 私立 神戸国際大学

取組名称 **キャリア教育とキャリア支援の連携による就職力の向上**

取組担当者 **キャリアセンター 課長 山中 敬**

## 1. 本学の概要

神戸国際大学（旧名 八代学院大学）は、1968（昭和43）年、キリスト教に基づく教育理念を柱とし、経済学部の単科大学として神戸市垂水区に設立され、経済理論と実践を研究教授し、国際社会に役立つ有為な人材の育成を行ってきた。1992（平成4）年に、その教育の国際性を明確にするため八代学院大学を神戸国際大学と名称変更を行い、2002（平成14）年、当初の設立地から、国際都市・神戸の独自性を創出していく拠点として誕生した六甲アイランド（神戸市東灘区向洋町）に総合移転を行った。さらに2009（平成21）年に、リハビリテーション学部理学療法学科を設置した。

現在は、この六甲アイランドキャンパスで経済学部（定員300名：経済経営学科、都市環境・観光学科）とリハビリテーション学部（定員80名：理学療法学科）の学生、計1,303名が学んでいる。

本学では、建学の精神として「神を畏れ、人を恐れず、人に仕えよ」を掲げており、これを基本理念として、キリスト教に基づく全人格教育を通して、敬虔で国際人たる能力を備え、豊かな教養と人間性を持つ有能な社会人及び理学療法士を育成している。

## 2. 本取組の概要

（リハビリテーション学部は2009（平成21）年度設置のため、本取組は経済学部の学生を対象としている）

本取組は、2009（平成21）年度から2010（平成22）年度の2年間において、キャリア教育とキャリア支援の連携によって学生の就職力向上を図るものである。

1、2年次においてはキャリア教育の実施により学生個々のキャリアプランを明確にし、各種の模擬試験及びゼミにおける担当教員からの模試結果フィードバックやビジネスマナー講座を通してビジネススキル等の向上を図る。

3、4年次においてはキャリアセンター主導による実践的な就職ガイダンスその他の就職イベントを行い、

就職相談担当者と演習担当者との連携による細やかな個人別就職指導を行う体制を充実させる。

## 3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

（2年間全体について）

本取組では、キャリア教育とキャリア支援の連携を図り、学生の就職意識の向上及び就職力の向上を目的とする。

そのために、キャリア教育では学生個々のキャリア形成（キャリアプランニング）、職業意識の醸成に加え、ビジネスマナー等、社会人として必要不可欠な基本的ビジネススキルや基礎学力の習得に重点をおいて、大学生活の前期（1～2年生）からカリキュラムにキャリアデザインユニットを設けキャリア教育科目を開設するとともに「大学基礎論」「プロゼミ」において基礎学力、コミュニケーション能力等の向上に努める。

一方、キャリアセンターによるキャリア支援においては3年次に実践的なキャリアガイダンスを実施するとともに、演習ごとにその学生を担当する常勤の就職相談員（キャリアカウンセラー）を定め、演習担当教員と連携してマンツーマン体制できめ細かな就職支援を行う。

これらによって、4年間に渡る計画的な就職支援体制の強化を図り、本目的の達成を期する。

（本年度について）

2年間の初年度に当たる本年度（2009（平成21）年度）は、学内合同企業説明会の開催、就職ハンドブックの作成、春休み就職活動講座の実施により、学生の就職意識やビジネススキルの充実・発展を図り、また、より行き届いた支援を図るために就職コンピュータシステムによるデータ内容を充実させた。（4事業）

その目的・達成目標は次のとおりである。

### （1）学内合同企業説明会の開催

学内において合同企業説明会を実施し、企業担当者との応対を経験させることにより、学生の会社訪問等における採用担当者とのコミュニケーション能力の一

層の向上を図り、学生の就職力を高める。

(2) 春休み就職活動講座

春季に2、3年生を対象とした就職活動講座を実施することにより、現況の厳しい雇用環境に対応して、早期に就職活動の知識、職業選択・採用選考に係る知識・対策方法を修得させ学生の就職意識の醸成と就職力の向上につなげる。

(3) 就職ハンドブックを作成し学生に配付

就職ハンドブックを作成し、学生に活用させることにより、就職活動全般についての認識、理解を促進させ、学生が早期に計画的な就職活動を実施できるように指導し、就職率の向上を図る。

(4) 就職コンピュータシステムの充実

就職コンピュータシステムの出力項目充実により、出身校別の就職状況を把握、蓄積し、特に地方出身の学生に対する企業へのマッチング向上のための基礎データとして活用を図る。

工業	2社	アパレル	2社
サービス業	2社	ブライダル	1社
派遣業	1社	食品卸	1社
印刷・広告	1社	石油製品販売	1社
環境	1社	医療機器販売	1社
自衛隊・警察	各1		

(2) 春休み就職活動講座

2年生を対象に3月下旬の6日間、外部の研修企業に委託し、次のとおり就職活動実践講座を実施した。

1日目：スタートアップ

①就職活動の進め方

就活のマスタースケジュールを立てる。

②学生プレゼンテーション

自己紹介及び就活についてプレゼンテーションを行う。

③グループディスカッション

「今までの自分、これからの自分」等をテーマにグループディスカッションを行う。



写真2 グループディスカッション

2日目：自己分析・自己PR

①自己分析の手法を学ぶ。

②今までとこれからの学生生活を考える。

③キャリアビジョンを考える。

④自己PRの重要性

⑤コミュニケーションゲーム



写真1 合同企業説明会

参加企業等内訳 (1日平均10社前後)

自動車販売	7社	ホテル・旅館	3社
外食産業	4社	小売業	4社
警備業	3社	商社	3社



写真3 自己分析・自己PR講義

3日目：職種・業界研究

- ①インターネットを使用した業界研究手法を学ぶ。
- ②業務内容・業界事情の具体例。
- ③業界と職種の研究を通して、社会で求められていることと自分を結び付ける。
- ④企業研究とインターンシップについて

4日目：自分を文章で表現する

- ①大学所定の履歴書を講義に沿って作成する。
- ②エントリーシートを講義に沿って作成する。

5日目：筆記試験の基礎情報と社会人としての基礎知識

- ①一般常識、SPIに慣れるとともに実力を知る。
- ②筆記試験の目的を理解し、今後の対策・学習について考えていく。
- ③マナーの基本と重要性を知り、手紙、Eメール、書類、敬語の使い方等社会人としてのふるまいを身につける。
- ④面接の意図、流れ、形式、コミュニケーションの基本を理解し、初歩的な面接シミュレーションを行う。

6日目：模擬面接と総合復習

- ①面接の意図、流れ、形式、コミュニケーションの基本を理解し、想定される質問への受け答えをシミュレーションする。

模擬集団面接を受けるとともに他の学生の面接も見ること、集団の中で好印象を与える方法を考える。

- ②自分の就活計画を作成する。



写真4 模擬面接

参加学生：2年次生20名

(3) 就職ハンドブックを作成し学生に配付

就職活動全般に関わる内容を記載した就職ハンドブックを作成し3月末の集団健康診断の時に新3年生全員に配付した。

5月から開始したキャリア担当カウンセラーによる演習ごとのプレキャリアガイダンスにおいてテキ

トとして使用し、実際の活動（自己分析、履歴書作成、エントリーシート作成、筆記試験対策等）に活用できるよう解説を行った。

また、このハンドブックを、キャリアセンターでの個別相談や面接練習においてもテキストとして使用している。



写真5 就職ハンドブック表紙

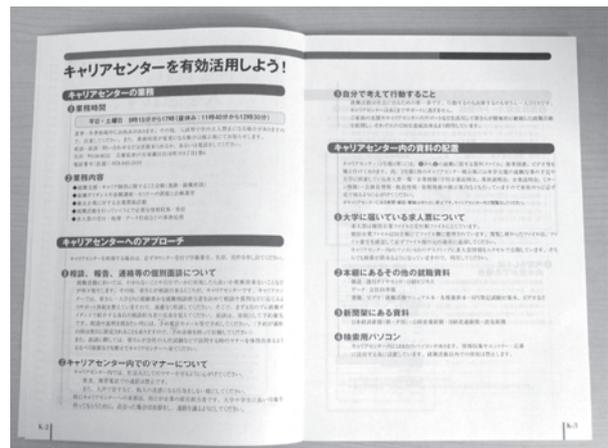


写真6 就職ハンドブック内容の一部

(4) 就職コンピュータシステムの充実

府県別・出身校別の就職状況をプリントアウトし、Uターン就職を希望する地方出身の学生に対するキャリアサポートの参考資料として使用している。

5. 本取組の評価体制・評価方法

(本年度)

1年目である2009(平成21)年度は2月から3月の2ヶ月間における4事業のみであるため、評価については事務局のみで実施することとし、評価体制としては事務部長・キャリアセンター課長・キャリアセンター職員による評価チームを形成して、個々の事業担当職員から報告を受け、これを基に事務部長・キャリア

センター課長が評価を行った。

### (1) 学内合同企業説明会の開催

企業担当者と対応した経験により、まず学生の面談スキル（対人コミュニケーション能力）がアップしたと判断している。会社訪問での対人コミュニケーションに良い意味で慣れさせ、4月以降の学外における企業合同説明会にも積極的に参加していく意欲を強化することができた。

### (2) 春休み就職活動講座

学生アンケート結果のまとめ

- ①就職活動に対する意識がまったく変わった。
- ②業界・職種について無知であること、企業について徹底して調べることの重要性が分かった。
- ③自分の強みを見つけて伸ばし、自信を持つことの重要性を認識した。
- ④今回の講座に参加していなかったら、どうやって就活しているのか分からなかっただろう。

現在の厳しい雇用環境に対応して就職活動できるよう、情報や知識、実践的な就活対策方法を早期に修得させ、自己分析やプレゼンテーション、模擬面接等を通して就職力のアップを図ることができた。

また、各ゼミ等において全体の就職意識・就職活動を牽引する核となる学生を育成できたものと評価している。

### (3) 就職ハンドブックを作成し学生に配付

自己分析や企業研究等就職活動の準備段階から会社訪問等の実際の行動、面接試験・筆記試験、敬語等に至るまでトータルに解説しており、学生の自習用として、また、キャリアカウンセラーの指導テキストとして有用であると評価している。

### (4) 就職コンピュータシステムの充実

府県別・出身校別の就職状況を把握して、Uターン就職を希望する地方出身の学生に対してOB・OG就職実績の具体例を示すことができるため、キャリアサポートの参考資料として有用であると評価している。

(次年度)

2010(平成22)年度は、3年次対象として年間20回を超える実践的なキャリアガイダンス、SPI対策講座、SPI模試・一般常識模試、ビジネスマナー講座、冬季就職活動合宿講座、春休み就職活動講座、3年生保護者向けキャリア講演会・相談会等多数の事業を計画しており、評価体制・評価方法については次のとおり行う予

定である。

- ・キャリアセンター事務室からの報告に基づいて、学部長会（学長・学長補佐・学部長・事務部長）が最終評価を行う。

## 6. 本取組の実施計画等

(本年度)

目的達成のため、初年度である2009(平成21)年度は、次のとおり4事業を実施した。

2月中旬

- ・就職コンピュータシステムの充実

2月17日～20日（4日間）

- ・学内合同企業説明会の開催（新4年生対象）

3月24日～31日（6日間：土日除く）

- ・就職活動実践講座（新3年生対象）

3月31日

- ・就職ハンドブック配付（新3年生対象）

(次年度)

目的達成のため、2年目となる2010(平成22)年度は、次のとおり実施する計画である。

- 通年 キャリアカウンセラーによるマンツーマン・サポート面談の実施（3、4年生対象）
- 4月 入学式での保護者向けキャリア講演会の実施
- 4月～5月 留学生対象の就職活動支援講座の実施
- 5月 職業適性検査の実施（3年生対象）
- 5月～12月 就職ガイダンスの実施（3年生対象）
- 5月 SPI対策模擬試験の実施（2、3年生対象）
- 6月 ビジネスマナー講座の実施（2年生対象）
- 7月 一般常識模擬試験の実施（1年生対象）
- 8月 学内合同企業説明会の実施
- 9月 キャリア英語（授業科目）の実施
- 9月 SPI対策講座の実施（1～3年生対象）
- 10月～1月 業界研究会の実施
- 10月 3年生保護者就職講演会・相談会の実施
- 11月 ビジネスマナー講座の実施（2年生対象）
- 11月 職業レディネステスト（1・2年生対象）
- 12月 冬季就職活動合宿講座の実施
- 2月 学内合同企業説明会の実施
- 3月 就職ハンドブックの作成・配付
- 3月 春休み就職活動講座の実施（2・3年生対象）